

1. 適用範囲

本要領書は、ENRWシリーズコネクタの結線作業方法について推奨する。
ただし、アッセンブリメーカーで確立した方法があればこの限りでは無い。

2. 必要工具

- 一般工具
 - ・ ニッパ、スケール
 - ・ 電工ナイフ又はシース剥き
- 特殊工具
 - ・ 圧着工具（日本製線株式会社 NST88）

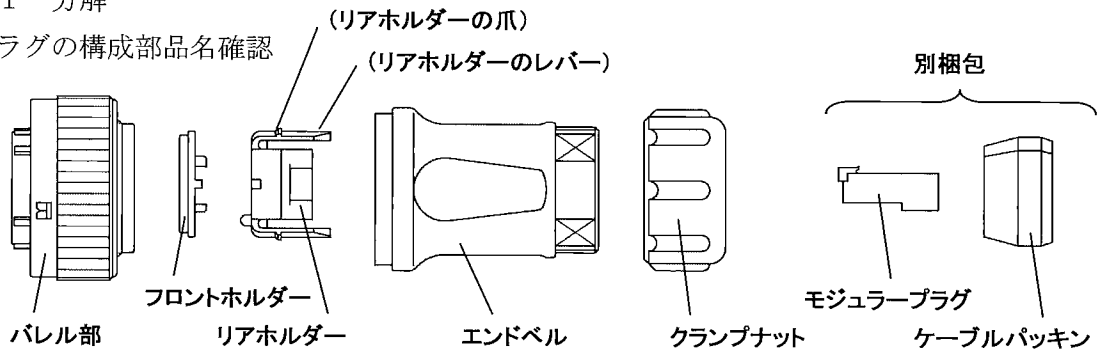
NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

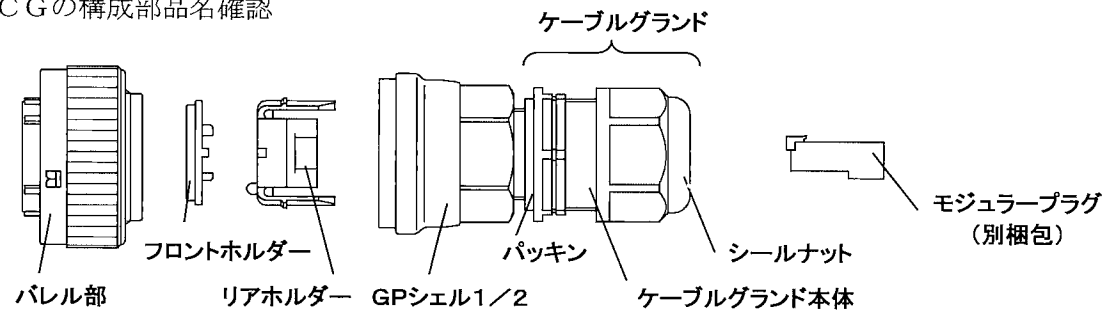
3. 作業手順（プラグ・PCG）

3. 1 分解

プラグの構成部品名確認

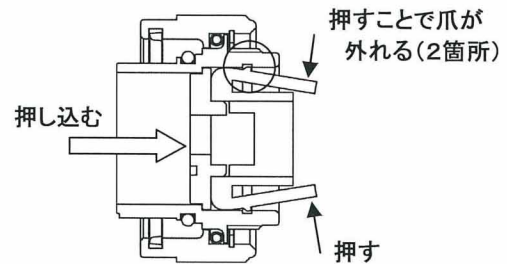
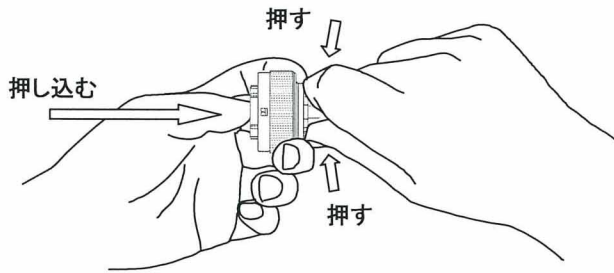


PCGの構成部品名確認



- (1) エンドベルまたはGPシェルを回転（左に回す）させ、バレル部より外す。
- (2) クランプナットを回し、エンドベルより外す（PCGは不要）。
- (3) バレル部から、次頁の要領でフロントホルダー・リアホルダーを外す。

変更記事	記号	日付	内 容	承認	査閲	作成	承認	調 査	起 草
△		2018.1.26	クランプナット(シールナット)推奨締付トルク下限値廃止	三ツ三	岡崎	佐藤	三ツ三	岡崎	佐藤
		2017.7.12	ホルダー形状変更により全文改定	三ツ三	岡崎	佐藤			
	記号	日付	内 容	承認	査閲	作成	2017.7.21	17.7.19	2017.7.18



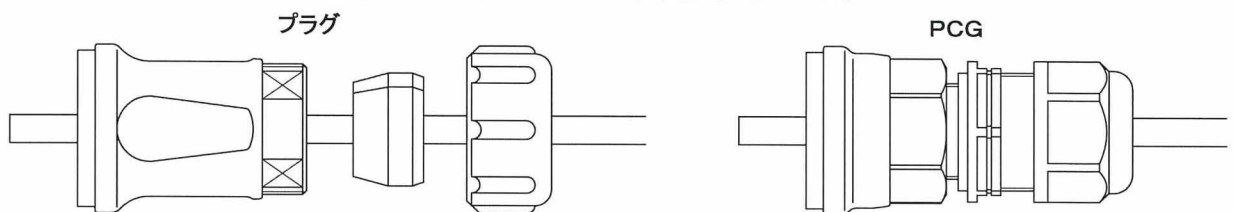
リアホルダーのレバーを押しながら、フロントホルダーを軽く押し込む。

3. 2 仮組立

(1) 分解した各部品を、下図の順にケーブルに通す。

(注) プラグの場合、ケーブル径に適合したケーブルパッキンを使うこと。

各パッキンの適合ケーブル径については図面を参照のこと。



3. 3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(注1) 製品に添付されたモジュラープラグを使うこと。

※結線ミス等によりモジュラープラグが不足した場合、別売りのモジュラープラグ (NSP524-S NO-LATCH ×5) を使うこと。

(注2) 弊社で販売するモジュラープラグ以外を使う場合には、右図のようにラッチを根元から切断すること。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

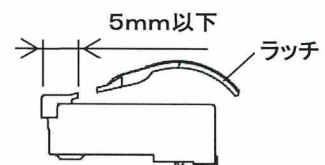


表1 結線表

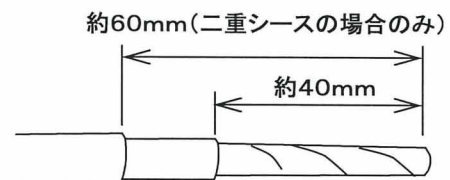
Pin No.	1	2	3	4	5	6	7	8
T568A	白 緑	緑	白 橙	青	白 青	橙	白 茶	茶
T568B	白 橙	橙	白 緑	青	白 青	緑	白 茶	茶

※以下の手順はT568B結線での説明とする。

(1) ケーブルシースを約40mm除去する。

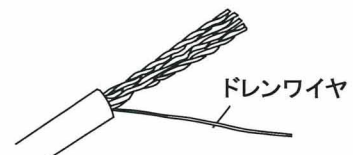
(注1) 二重シースケーブルの場合、外側のシースは約60mm除去すること。

(注2) ケーブルシースが薄く柔らかい場合、より安定した防水性能を得るため、ケーブルパッキンのかかる部分を防水用熱収縮チューブ等により補強すること。

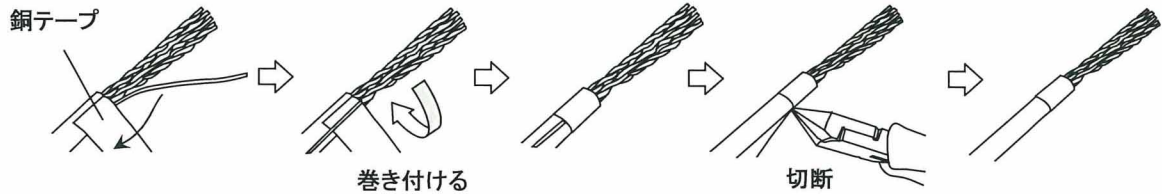


(2) 遮蔽テープ、押え巻きテープを心線の根元で除去する。

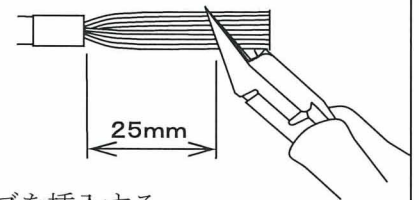
(注) ドレンワイヤや編組は残すこと。



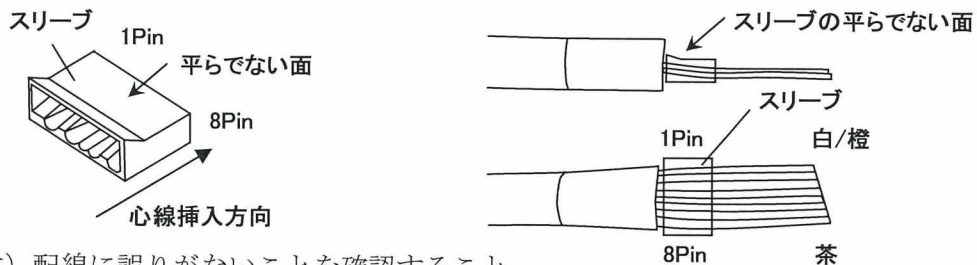
- (3) 添付の銅テープを、粘着面を内側にしてドレンワイヤを包むようにケーブルシースに巻き付けた後、銅テープから出ている余分なドレンワイヤを切断する。
編組シールドのケーブルは、編組を折り返した上に銅テープを巻きつける。



- (4) ケーブルシースの根元まで各対の撚りを戻し、2頁の結線表に従い心線の配列を揃える。
心線を一直列にし、ケーブル根元から25mmほどあけて心線を斜めに切断する。

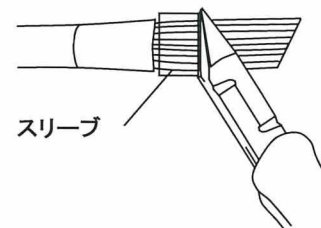


- (5) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるようにスリーブを挿入する。
ケーブル根元とスリーブの間になるべく隙間が生じないように、しっかりと挿入する。



- (注) 配線に誤りがないことを確認すること。
スリーブの向きを確認すること。

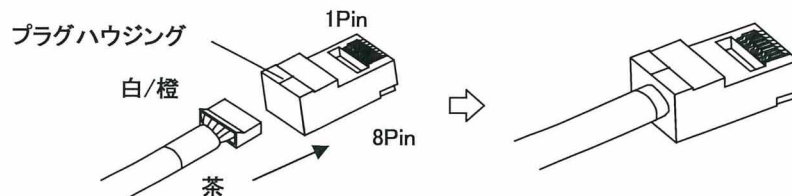
- (6) スリーブの先端で、余分な心線を切断する。



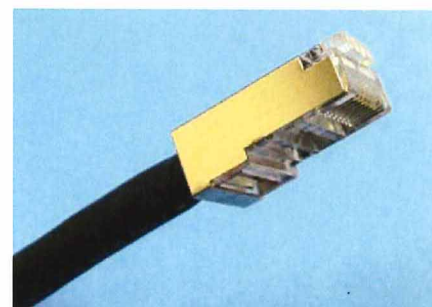
NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

- (7) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるよう、プラグハウジングに挿入する。
(注) 心線の先端がプラグハウジングの内壁に当たるまで、しっかりと差し込むこと。

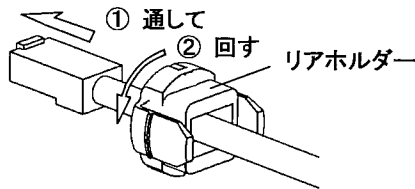


- (8) 圧着工具NST88にプラグハウジング先端をしっかりと奥まで差し込み、一括圧着する。

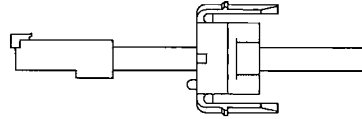


3.4 組立

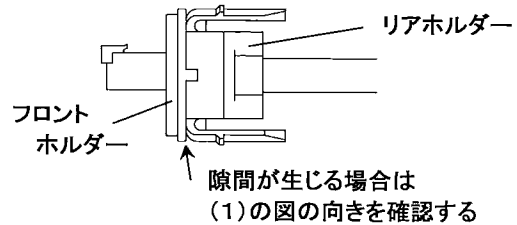
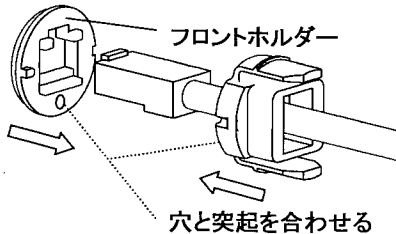
- (1) リアホルダーにモジュラープラグを通し、リアホルダーを90度回す。



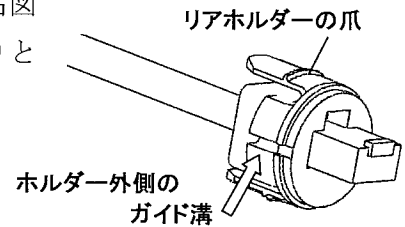
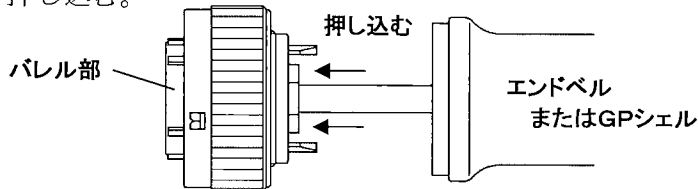
モジュラープラグとリアホルダーの向き



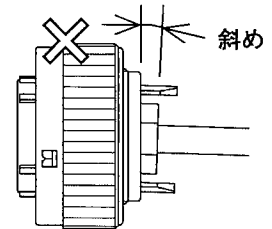
- (2) フロントホルダーとリアホルダーで、モジュラープラグを挟む。



- (3) バレル部内側のガイド突起と、ホルダー外側のガイド溝（右図参照）位置を合わせ、バレル部にリアホルダーをしっかりと押し込む。



- (注) 爪がバレルに確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。バレルに対してリアホルダーが斜めに入っている場合、爪が入りきれていない事が考えられるので、注意すること。



- (4) バレル部を固定し、エンドベルまたはGPシェルを締め付ける（右回りに回す）。

※推奨締付トルクは6頁の表2、番号1を参照

(注1) エンドベル（GPシェル）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) バレル部を回して締め付けないこと。

(注3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

NANABOSHI PDF DATA

- (5) GPシェルを固定し、ケーブルグランド本体を締め付ける（PCGのみ プラグは不要）。

※推奨締付トルクは6頁の表2、番号2を参照

(注1) GPシェルを回して締め付けないこと。

(注2) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

御 参 考 用

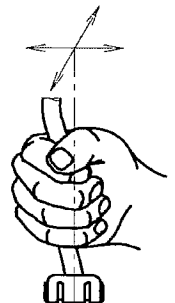
- (6) エンドベル（ケーブルグランド本体）を固定し、クランプナット（シールナット）を締め付ける。

※推奨締付トルクは6頁の表2、番号3・4を参照

(注1) クランプナット（シールナット）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。

(注3) エンドベル（ケーブルグランド本体）を回して締め付けないこと。



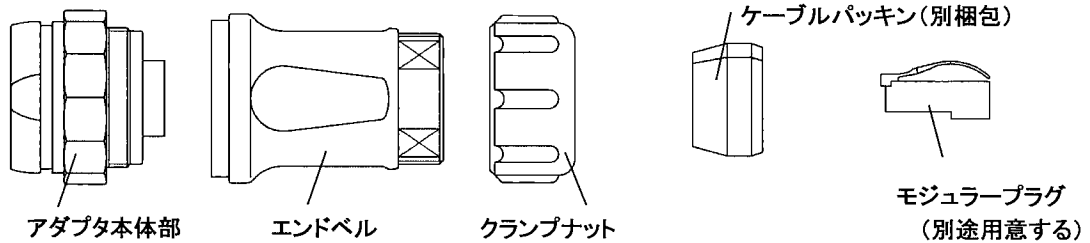
NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

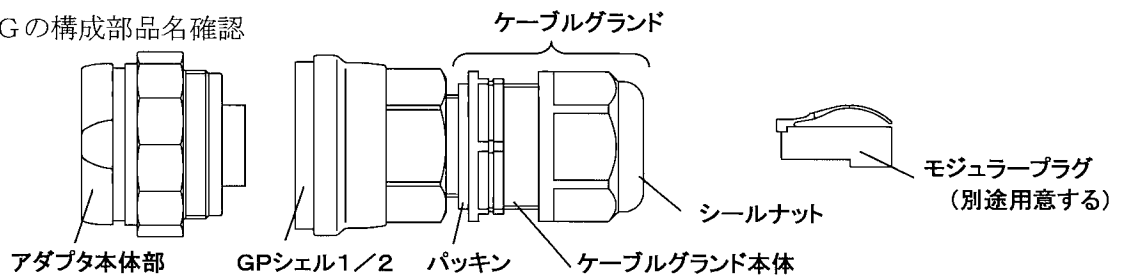
4. 作業手順 (アダプタ・AdCG)

4. 1 分解

アダプタの構成部品名確認



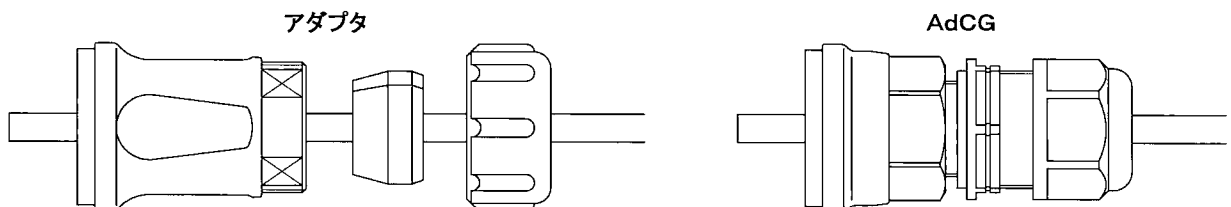
AdCGの構成部品名確認



- (1) エンドベルまたはGPシェルを回転 (左に回す) させ、アダプタ本体部より外す。
- (2) クランプナットを回してエンドベルより外す (AdCGは不要)。

4. 2 仮組立

- (1) 分解した各部品を、下記の順にケーブルに通す。



4. 3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

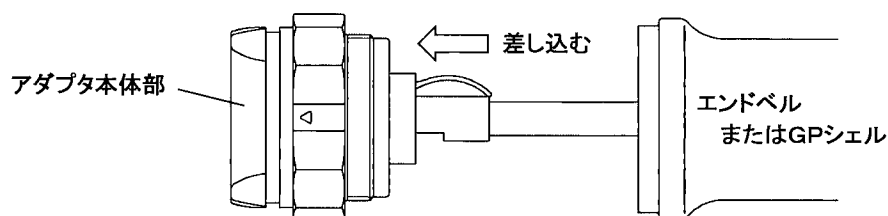
- (1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

(注) モジュラープラグのラッチを除去しないこと。

4. 4 組立

- (1) アダプタ本体部にモジュラープラグを差し込む。



(注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。

(2) アダプタ本体部を固定し、エンドベルまたはGPシェルを締め付ける（右回りに回す）。

※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号1を参照

(注1) エンドベル（GPシェル）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) アダプタ本体部を回して締め付けないこと。

(注3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

NANABOSHI PDF DATA

(3) GPシェルを固定し、ケーブルグランド本体を締め付ける（AdCGのみアダプタは不要）。

※推奨締付トルクは本頁下部の表2、番号2を参照

(注1) GPシェルを回して締め付けないこと。

(注2) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

御 参 考 用

(4) エンドベル（ケーブルグランド本体）を固定し、クランプナット

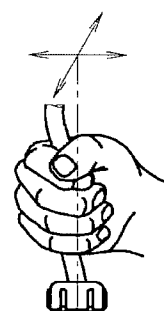
（シールナット）を締め付ける。

※推奨締付トルクは本頁下の表2、番号3・4を参照

(注1) クランプナット（シールナット）を斜めにねじ込まないこと。

(注2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。

(注3) エンドベル（ケーブルグランド本体）を回して締め付けないこと。



5. 作業手順（レセプタクル）

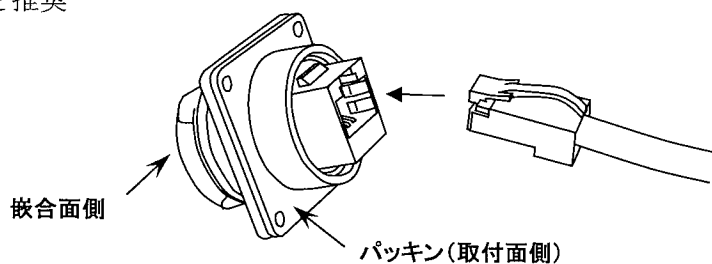
5. 1 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※日本製線製 NSP524-Sを推奨

5. 2 組立

(1) レセプタクルの取付面側にモジュラープラグを差し込む。



(注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。

表2 各部品の推奨締付トルク

番号	締付作業場所	推奨締付トルク [N・m]
1	バレル部（アダプタ本体部） －エンドベル（GPシェル）間	1.5～2.0
2	GPシェル－ケーブルグランド本体間	2.4～2.8
3	エンドベル－クランプナット間	△ 2.0
4	ケーブルグランド本体－シールナット間	△ 2.8

(注) 上記はあくまでも参考値であり、使用条件により仕様の防水性能を確保できない場合がある為、実際の使用条件下での評価試験を行うこと。